



11.12月合併号

八郷町役場

人口と戸数(11月末)	
世帯数	5,740
人口	男女計
	16,271
	16,966
	33,237

町造りは理解と納得で

町長 大槻 忠夫

八郷町も発足以来ここに満二年を経過しようとしております。皆さま方のご理解と協力によりまして、幾多の苦難を克服しつゝ町の建設も漸く軌道にのり、前途に明るい希望をもつ事ができるようになりましたことは、誠に同慶にたえない所でありまして、

しかし、当町においては、建設が政争の渦にまきこまれ、理事、人員整理、消防の統合等合併町村として当然な事ならばぬ問題までが政争の種とされ、極端な場合には首長リコールにまで発展した事例さえあることによつても、ほぼ推測できることと存じます。

とくに合併町村の建設は、従来の小さな町村に行われて来たような、多分に旧慣伝統に依り、民主的に又能率的に行われなければなりません。従つて執行者たる私といはし、ましては、広報活動の徹底により、深く世論の大勢を洞察し、又町政の実体をお知らせすると共に、建設のため必要なこと、有益な事に關してはあくまでも筋をとおし、毅然たる信念に基いてこれを実行して参らなければなりません。

然るに最近町政に対して相当悪質のデマが一部に流布されてゐる向があることは、甚だ遺憾とするところであります。それが悪意に出ずるものか、或は誤解にもとづくものかは判然といたしません。若し皆さまがさようなデマに惑わされるようなことがあれば、折角高まつて来た納税意識もにぶり、建設意欲にも悪影響を及ぼすおそれなしとせず、町にとつて誠に不幸なこととでございます。とかく滞納整理等の場合にはこうしたデマが飛びやす、大衆の中に少しでも不満があれば、それが筋のおつたものであろうとなかろうと、これを誇大にせん動せんとする人や政党もありませんので、之に惑わされたいよう皆様方に御警告申上げる次第でございます。

町では既報のとおり八郷高校設置のため、本年度七〇〇万円の予算を計上、さきに敷地四町歩を確保、来春開校を目標に着手、建設準備を進めてゐるが、相当の大工事である隊勝田施設学校の援助を要請中のところ、この程ブルドーザー三台をもつた竹内弘三三尉以下二十二名の作業隊の来援を得て、十一月廿六日から十二月七日まで、十二日間の作業で第一期工事を完了した。

この第一期工事は、校舎建築敷地の地ならしで、県道沿いに東西約二〇〇米、南北約七〇米、切土の最も深いところ三米で、約一〇、六〇〇立方メートルの土量を南側凹地に持ち出す工事である。

高校敷地の地ならし工事

第一期工事完成

町では既報のとおり八郷高校設置のため、本年度七〇〇万円の予算を計上、さきに敷地四町歩を確保、来春開校を目標に着手、建設準備を進めてゐるが、相当の大工事である隊勝田施設学校の援助を要請中のところ、この程ブルドーザー三台をもつた竹内弘三三尉以下二十二名の作業隊の来援を得て、十一月廿六日から十二月七日まで、十二日間の作業で第一期工事を完了した。



農業改良資金 助成法

「解説」この法律は最近施行されたもので、農家が農業経営改善のため、自主的に能率的な農業技術の導入と、農業施設の改良又は取得を促進するため、技術導入資金、施設資金の貸付と施設資金の利子の一部を補給する制度で、農業経営の安定と農業生産力の増強を目的とするものである。

技術導入資金
農業経営の改善を促進するため、技術導入に必要な資金で、保温折衷苗代の保温紙購入資金のようなもので、桑園の改植その他がいろいろ、一年〜三年で償還し、無利子である。

施設資金
農業経営改善のため必要な農機具、畜舎、農業用道路、その他の施設の改良の敷地ならし作業の全景

【写真】上 高校敷地地ならし作業の全景
下 一六トンの自重で軽々二立方メートルの土を運ぶブルドーザー

町は滞納整理に本腰

全吏員が部落を担当

町では、納税貯蓄組合の設立をすすめて、全町に計画的自主的な納税体勢をつくることを徴税の基本方針として、頭打ち状態にある当面の納税成績を打開するために強力な滞納整理班を編成して十二月より活動を開始することになった。

滞納の強行整理は去る八月より開始し、一、二九名に催告状を発送し、うち五七名に財産差押え処分を執行したが、これからは悪質滞納者に対しては、本庁の特別整理班が、随時強行整理を断行することになつてゐる。

- 滞納整理班の編成
- ① 隊長は助役、副隊長は収入役とする。
 - ② 支所長(柿岡は鎌田主事)を班長とする八ヶ班をつくる。
 - ③ 役員全吏員が班員となり、出身地区班に所属する。
 - ④ 各班は班員の担当部落を定め、毎月一回以上滞納者を訪問し、徴収にあたるものとする。
- 強行整理は続行

延滞金および延滞加算金
税法では、納期限の翌日から百円につき日歩三銭の延滞金が、督促状が出れば、その指定納期限の翌日から更に百円につき日歩三銭の延滞加算金を徴収することになつてゐるが、こんどの滞納整理班員にはこの徴収を見合はさせることになつてゐる。しかし、催告状が出て強行整理になればこの恩典はなくなるので、滞納のある方は催告をまたず

原子力平和利用 茨城博覧会

東洋で始めての原子力センターの建設が、東海村で着々進んでゐるとき、われわれは原子力のことを知らずすまされぬ時代になつた。

来春元旦より水戸市総合グラウンドで開かれるこの原子力平和利用博覧会は、原子力のことを知るのに絶好の機会です。この博覧会には、原子力とは何かということから、発電・農業・医学・工業など原子力平和利用の現在の段階と将来とを、わずか二時間前後でだれにもわかるよう、やさしく説明してくれます。

◎入場者のために
個人で入場される方には、前売券の利用をおすすめする。この前売券は十二月三十一日まで、全県下のどのたばこ

開放農地代金など
農地改革で売渡しを受けた土地(農地)代金や貸付料の未納が、当町にもまだ相当あります。今年中にすつかり納めて、すつきりして新年を迎えたいものです。
(農委事務局)

役場に電話増設
柿岡一〇四番
二階事務室につけたので、総務課、土木課、調査室、教育委員会との通話に御利用下さい。

階下は 四番
二階は 一〇四番

時間励行

八郷町 新生活運動

部落新生活学級を中心に

八郷町は今年度、茨城県新生活運動推進協議会より、新生活運動町村として指定を受け、八郷町公民館もまた、県教育委員会よりモデル公民館として指定を受けたので、公民館は「町の新興村建設と公民館活動」という研究題目をかかげて、新生活運動をおしすすめて行く方針を定め、すでに実行にうつっています。

新生活運動のすすめ方

この運動は、上からの指示や命令で行われるものではなく、住民一人一人が自分の生活を見つめることから始まり問題を発見してこれを解決しようとする共通なやみを持つ人々が話し合い、協力し合つて行こうとするものであるから先づ話し合いから始めることとして、次のような年次計画をたてていきます。

新生活学級に参加しま

才一年度(昭和三十一年) 展示資料・録音教材・幻灯等を利用して 部落新生活学級

第一年度計画		第二年度計画		第三年度計画	
月日	活動内容	月日	活動内容	月日	活動内容
8月24日	新生活学級指導者講習会(各地区区長を対象)	2月中	世論調査 町指導員全体会議	2月中	実践活動全地域の建設計画書を作成、それに基づいて全町的に実施する。
11月26日	第一回八郷町新生活学級の開設(婦人層指導員)	1月23日	第三回八郷町新生活学級(青年層)	1月中	同左
12月14日	第二回八郷町新生活学級の開設(壮年層)	12月中	部落新生活学級の開設	12月中	部落新生活学級の開設と巡回映画
9月中	新生活学級指導員打合せ 指導員記録簿の配布 部落新生活学級計画の樹立と実施	2月中	同左	2月中	同左

今年も七五三祝は 公民館で

楽しみの七五三祝が間近にせまつたが、町の公民館では今年もつぎのように公民館主催する。

- ◎合同祝は各地区公民館が主催するが、婦人会が中心となつて実施する。
- ◎右の点は各公民館とも歩調を合せる。
- ◎期日は旧十一月十五日とする。
- ◎参加児童は七才の男女児に限る。
- ◎衣裳は、男児は学童服、女児はセイヤール服に統一して式に望むこととする
- ◎記念品として筆入、千歳飴、記念写真を贈る。

八郷町消防団の 現況

◎その他については婦人会がきめる。

町の消防団は、旧村の消防団を地区団と名をかえてひきついたが、団員数や装備に不均衡があるばかりでなく、装備も不十分なので、町の重点施策としてこれを取りあげ五ヶ年計画をたてて改善の方向を腕用ポンプを動力ポンプへの切りかえと、貯水槽の増設において努力して来たので現在では次のような成果をあげている。(昭和三〇、三一

- ◎可搬式動力ポンプの増設 二台(三四三万円)
- ◎三輪自動車ポンプ改装 一台(四五万円)
- ◎貯水槽設置数 百石入 三〇基
- ◎鉄骨火の見櫓 六基
- ◎分団の減少 三ヶ分団
- ◎団員の減少 三七五名

八郷町養菊会結成

菊花品評会の賞品授與 この秋、柿岡なべや主人菊地方之助氏の主唱で、菊花品評会が催されたが、人気投票できまつた入賞者への賞品授與が、十二月九日会場の菊地氏宅に同好者五〇余名が集つたり、来賓の山本代議士夫人桜井果議、大槻町長(代理)江畑教育委員長を交えて盛會裡に行はれた。

火の用心

今年こそ八郷町から火災を追放したいものです。

- ◎焼かない注意 燃えない工夫
- ◎忘れるな 火の用心と親の恩
- ◎強い男の消防よりも 弱い女の火の始末

与が、十二月九日会場の菊地氏宅に同好者五〇余名が集つたり、来賓の山本代議士夫人桜井果議、大槻町長(代理)江畑教育委員長を交えて盛會裡に行はれた。

納税組合紹介

上會の峯広近さんの組合では、納税準備金として毎年組合員のだれもが、米一俵(12月)小麦一俵(7月)を出し合つて、組合名義で準備貯蓄をしていく。組合員中にはこれが一ヶ年の納税に足りないものがあるから、その分は心掛けて別に集め、組合長はその準備貯蓄をやりくりして支障なく完納している。

この準備貯蓄を組合員が均一に出すこととしたのは、納税の時に低額納税者が高額納税者を援助するから、納税奨励金は組合共有にしても、高額納税者から不満が出せないところをねらいがあり、これも一つの注目に値する。

年の瀬

泣き寝入り!それが一番いけないことです。すべて私たちは生れながらに自由であり、平等であり、また侵すことのできない尊厳権利をもつていて、これを自覚しみんなで基本的人権をまもりましょう。

○おなかの虫は寒さに弱いといわれます。今から春先にかけて、虫の抵抗力が弱いのので今のうちに徹底的に退治しましょう。薬は夕食を軽くして、ぬる前に飲みましょう。

殉国の碑除幕式



この殉国の碑は、高友山頂丸山古墳の南側、旧柿岡町を眼下に、筑波山を指呼の間に眺む景勝の地に、八郷町遺族会の手で建てられ、去る十一月三日除幕式と合同慰霊祭が盛大に挙行された。

この碑に刻された殉国者は、柿岡地区一六五名、小幡地区一四九名、芦穂地区一三三名、恋瀬地区一七二名、瓦会地区一〇六名、園部地区一五四名、林地区一二九名、小幡地区

大、小麦三要素試験

今年も二〇ヶ所に設置

大小麦の三要素試験は、去年に引き続き今年も次の二〇ヶ所に委託実施するが、これは八郷町の施肥改善の資料を得るためと、一般農家に見てもらつて、肥料要素の認識を高めることを目的とするものだから、十分ご利用ねがいたい。

(役場・相談所)

試験展示場の場所と担当者

場 所	品 種 名	担 当 者 名
柿岡	小麦	要卓男
原	小麦	清 俊
館	小麦	池田 俊
金	小麦	谷田 橋
十	小麦	高橋 幸
小	小麦	神 幸
幡	小麦	三 幸
下	小麦	野 忠
吉	小麦	田 治
穂	小麦	中 治
上	小麦	根 治
恋	小麦	大 治
瀬	小麦	増 治
大	小麦	野 治
布	小麦	田 治
瓦	小麦	村 治
会	小麦	島 治
野	小麦	本 治
東	小麦	山 治
眞	小麦	土 治
林	小麦	白 治
小	小麦	谷 治
幡	小麦	上 治
月	小麦	松 治
弓	小麦	信 治